

オーバーラップ式ベースブロック

NETIS CB-070039-A

護岸基礎工と法覆工の可動固定により 安定性が向上！

概要



「オーバーラップ式ベースブロック」は、基礎工と法覆工の接する部分に、重ね合わせ構造及び、可動固定金具を採用してスライド領域を確保することにより、法覆工の屈とうに追従して隙間が発生しない構造とした護岸基礎ブロックです。水衝部で水当たりが強い場所等で、護岸からの土砂流出抑制及び法覆工のめくれ防止対策が図れる画期的な製品です。

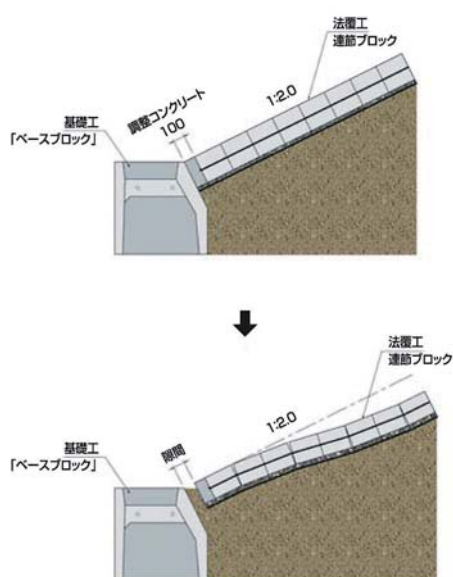
特長

- ①基礎工と法覆工を重ね合わせ構造(スライド領域)とし、隙間の発生を防ぐことが可能です。
- ②可動固定金具によりスライド領域を確保することができ、法覆工の屈とうに追従できます。
- ③法覆工のめくれ防止効果が図れます。
- ④中詰め材として、現地発生コンクリート殻の投入が可能となり、リサイクルにも貢献できます。

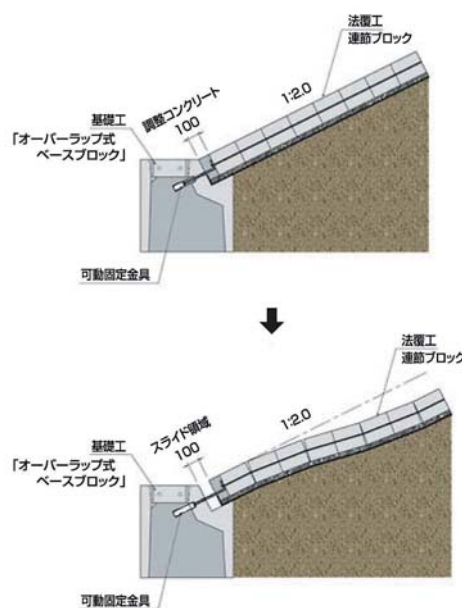
機能説明

重ね合わせ構造を採用して、スライド領域を確保することにより、法覆工の動きに追従して隙間が発生しない構造とし、護岸の土壌流出の抑制及び法覆工のめくれ防止対策が期待できます。

【従来型ベースブロックの場合】



【オーバーラップ式ベースブロックの場合】

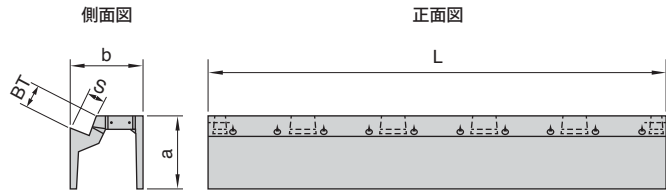


オーバーラップ式ベースブロック

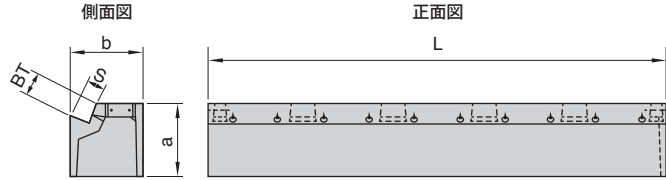
形状・寸法



【標準タイプ】



【壁付タイプ】



規格寸法表

タイプ	呼称	サイズ					参考質量 (kg)	中詰めコンクリート量 (m ³ /本)
		a	b	L	S	BT		
AK 型	標準タイプ	1,000	1,000	4,998	200	250	2,750	3,600
	壁付タイプ	1,000	1,000	4,988	200	250	2,880	3,537
	目地用壁付タイプ(標準区間用)	1,000	1,000	4,988	200	250	2,790	3,575
BK 型	標準タイプ	800	800	4,998	200	250	2,280	2,000
	壁付タイプ	800	800	4,988	200	250	2,350	1,966
	目地用壁付タイプ(標準区間用)	800	800	4,988	200	250	2,310	1,981

施工例



施工前



施工中



完成

施工歩掛

(10m 当たり)

ブロック製品長 (mm)		5.0	
ブロック下幅 (mm)		700以上	900以上
名称	単位	900未満	1100未満
世話役	人	0.3	0.4
特殊作業員	人	0.4	0.5
普通作業員	人	0.6	0.8
ラフテレーンクレーン運転	日	0.4	0.6
諸雑費率	%	10(24)	13(30)

(ご注意)

1. 上表の労務歩掛は、ブロック据付、連結、目地材設置、中詰めコンクリート打設、養生を含みます。
2. 中詰めコンクリート工は、クレーン車打設とします。
3. 諸経費は、労務費の合計額に左表の率を乗じた金額を上限として計上します。
4. 諸経費は、目地の材料費、バイブレータ、コンクリートバケット損料、電力に関する経費及び養生に要する費用です。
5. 養生は、養生材の被覆、散水養生、被覆養生程度のものであり、特殊養生を必要とする場合は練炭養生とし、()内の率を使用します。
6. ラフテレーンクレーン(排出ガス対策型油圧伸縮ジブ型25t吊)は賃料とします。
7. 平成23年度国土交通省土木工事積算基準護岸基礎ブロック工(1)を引用しています。